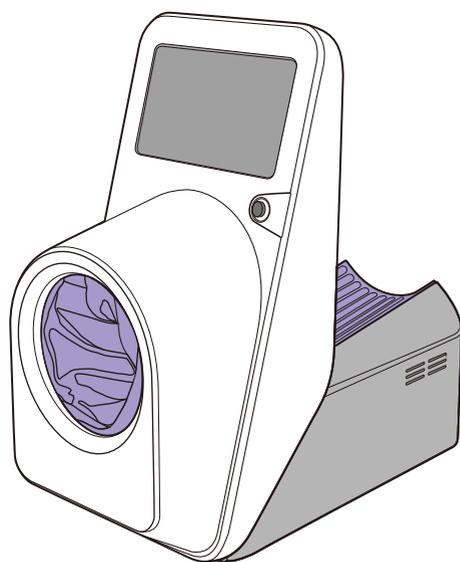


脈波測定装置

ViewWave

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。本紙をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも確認いただける場所に保管してください。
ご不明な点は、当社「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」までお問い合わせください。



目次

ページ

安全上のご注意	1
免責事項について	5
製品概要	6
<ul style="list-style-type: none"> ・使用目的、原理 ・製品の特長 ・用語の説明 ・各部の名称とはたらき 	
ご使用の前に	8
計測の前に	8
準備	9
<ul style="list-style-type: none"> ・始業点検 	
計測の手順	10
<ul style="list-style-type: none"> ・計測全体の流れ ・計測の操作手順 	
お手入れ方法	14
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のお手入れ ・定期点検 	
故障かな？と思ったら	16
仕様	17
保障とアフターサービス	18
保証書	裏表紙
お問い合わせ窓口	裏表紙

梱包内容

● ViewWave本体	1台
● AC電源コード	1本
● 取扱説明書	本紙
● 取扱注意点	1部
● プリンター操作手順書	1部

ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷(※1)などに結びつく可能性があるもの	記号の説明	 行為を禁止する記号です。 例: 
 注意	誤った取扱いをしたときに傷害(※2)、または家屋・家財などの損害(※3)に結びつくもの		 行為を強制、指示する記号です。 例: 

(※1)重傷とは、失明やケガ、火傷(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療のために入院や長期通院を要するものをさします。

(※2)傷害とは、治療に入院や長期通院を要さないケガ、火傷、感電などをさします。

(※3)損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさします。

使用上の注意  警告	
 次の計測対象には使用しないこと。 <ul style="list-style-type: none"> ●皮膚以外の部位(粘膜、体腔内など) ●熱傷、創傷、切開傷など血液、体液に触れる部位 ●眼球および眼球付近 ●胎児およびその付近 	 本製品の装着部を計測毎に滅菌できないので、次の患者には使用しないこと。 <ul style="list-style-type: none"> ●感染症の患者 ●無菌状態を必要とする患者
 けがや治療中の腕で測らない。	 点滴、輸血をしている腕で測らない。
 可燃性ガスや高濃度酸素環境下など火災や爆発の恐れがある場所使わない。	 乳幼児の手の届くところに保管しない。
 電撃防止のため、電源プラグやコードに損傷がないことを使用前に確認すること。	 電撃防止のため、製品を水などの液体に浸して使用しないこと。
 感電防止のため、濡れたり結露したりしている場合には、よく乾燥させてから電源を入れること。	 水濡れによる感電防止のため、お手入れは電源プラグをコンセントから抜いて行うこと。
 電撃防止のため、電源コードは必ず付属品の接地極付き電源コードを使用し、電源プラグは接地極付きコンセントに直接接続すること。	 本製品を、可燃性麻酔薬あるいは引火性ガスを使用する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に持ち込んで使用しないこと。引火爆発の原因になる。

併用注意

 **注意**

- | | |
|---|---|
|  <p>患者環境外(1.5m以外)にて、(本製品にコンピュータなどを接続する場合)電気安全規格であるIEC60950などのIEC規格に適合するコンピュータを使用してください。また、接続する場合には、本製品での計測は行わないでください。</p> |  <p>本製品は検査用機器です。相互作用を避けるため、以下の場所では使用しないでください。
MRI室、CT室、レントゲン室、手術室</p> |
|  <p>本製品はEMC規格(IEC60601-1-2:2001)の要求に適合していますが、携帯電話、トランシーバなど電磁波を多く発生する機器の影響を受けることがあります。これらの機器との同時使用は避けてください。</p> |  <p>患者環境内(1.5m以内)にて、(本製品にコンピュータなどを接続する場合)医療機器の安全規格であるIEC60601-1(JIS T 0601-1)に適合するコンピュータを使用してください。</p> |
|  <p>他の医用機器を接続併用できません。</p> |  <p>本製品に起因しないソフトウェアを組み込まないでください。本製品の性能を損なう可能性があります。</p> |

その他の注意

 **注意**

次のいずれかの場合は、医師の指導のもとでご使用ください。

- 使用中に皮膚炎などの肌の異常を感じる場合
- 血行障害が長く発生する場合
- 透析治療中や動静脈瘻がある場合
- 重度の血行障害や血液疾患がある場合



次のいずれかの状態や症状をお持ちの場合は、医師の指導のもとでご使用ください。正しく計測できないことがあります。

- 一般的な不整脈(心房性、心室性早期収縮、心房細動など)
- 動脈硬化症・糖尿病・腎臓疾患・かん流低下
- 妊娠中や子かん前症(妊娠中毒症)
- 乳腺切除した方
- 未成年の方



以下の場所に設置してください。

- 水平で安定した場所
- 周囲に空間の取れる場所
- 環境温度 10℃～ 40℃
- 環境湿度 85%以下



以下の場所には設置しないでください。

- 直射日光が長時間当たる場所
- 水や蒸気のかかる場所
- 振動や衝撃のかかる場所
- ガスが発生したり、火気のある場所
- 切離し器具(手段) の操作の妨げになる場所
- AC電源コードを引き抜けない位置



保管の場合は上記に加え以下の場所も避けてください。

- 周囲温度が - 5℃未満または 50℃を超える場所
- 化学薬品の保管場所



使用前には以下の事に注意してください。

温度が極端に異なる環境に移動した場合、機器に結露を生じることがあります。機器に結露がある場合もしくは濡れている場合は、よく乾燥させてから電源を入れてください。感電、故障の原因になります。



使用中は以下の事に注意を払ってください。

- 濡れた手で操作しない
- 計測に必要な時間を超えない
- 安全に正しく使用され、機器全般および被検者に異常のないことを、絶えず確認する
- 本製品および被検者に異常が発見された場合には、被検者に安全な状態で機器の動作を止めるなどの措置を行う
- 計測中に保守、メンテナンス作業を行わない



使用後は以下の事に注意してください。

機器は次回の使用に支障がないよう清掃を行う。



本製品の上に物を載せたり、物を落としたりしないでください。

破損、故障の原因になります。



計測を途中で中止した場合、データは保存されませんのでご注意ください。

破損、故障の原因になります。



何度も繰り返して脈波を計測しないでください。

腕が次第にうっ血し、正しい計測値が表示されないことがあります。うっ血した場合は、手を高く上げ、握ったり開いたりを15回ぐらい繰り返してください。



週1回程度は定期的に動作確認をしてください。

長期間使用しなかった場合、正常に動作しないことがあります。



お手入れの際は、電源をOFFにしてください。

故障の原因になります。



本体・付属品を水洗いしないでください。

故障の原因になります。



本体・付属品のお手入れの際は、シンナー、ベンジンなどの薬品は使用せず、乾いたやわらかい布で拭いてください。

故障の原因になります。どうしても汚れが落ちない場合は、水もしくは、薄めた中性洗剤で湿らせたガーゼや綿棒などで軽く拭き取ってください。



製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従ってください。

本製品は、医師の診断に有用な情報を提供する機器ですが、診断を行うものではありません。

本製品で計測した結果にかかわらず、健康状態に影響があったとしても、当社は一切の責任を負いません。

- 本製品で計測した結果は、計測した時点でのデータです。症状は急変することがありますので、計測データを自分で判断せず、医師に相談してください。健康状態に影響があったとしても、当社は一切の責任を負いません。ご自身の健康状態と計測データが気になる場合は早めに医師の診断を受けてください。
- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者の行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用、または使用不能から生ずる附随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に関して当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動から生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

使用目的、原理

本製品は上腕に巻く腕帯を備えた脈波計であり、腕帯内の空気の圧力変化と給排気する空気量変化を利用し、上腕部血管の、腕帯圧変化や拍動などに応じて変わる血管容量変化を計測・記録する目的で使用します。

上腕部を腕帯の巻き付け装置に挿入したのち、プログラムされた時間シーケンスに沿った設定圧力になるよう腕帯に空気を送り込み、このときの腕帯圧力変化や拍動による腕帯内の圧力と空気量の変化を記録し、血管容量と圧力の関係を計測します。

得られた血管容量データから、動脈血管の管法則や拡張率を計算します。

製品の特長

本製品は、上腕部を挿入する腕帯部を有し、腕帯に、ポンプで空気を給気、設定圧まで昇圧できます。続いて設定されたシーケンスに沿った排気により圧力を降圧することができます。また同時に腕帯内の空気の圧力、容量を計測、記録する機能を備え、動脈の拍動に伴う脈波を記録し、得られたデータから血管の管法則、血管の拡張率を計算しディスプレイ上に表示することができます。

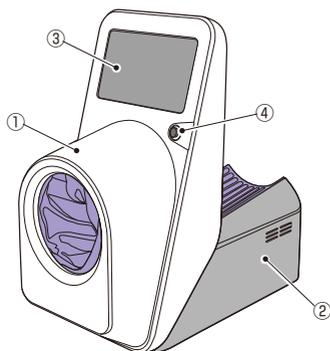
本製品はタッチパネルを使い、被検者情報入力を行うことができます。

用語の説明

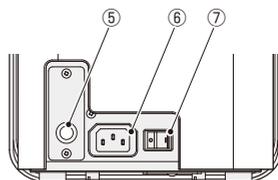
名称	説明
腕帯	腕に巻きつける帯リング状の空気袋。 ホースにてポンプ、切替バルブなどの給排気配管系、ならびに、流量計、圧力センサーと接続される。
脈波	心臓の拍動に伴い血管内の血液量が増加することで血管が脈打つ際の波。 圧力変化として見る場合を圧脈波、容積変化として見る場合を容積脈波と言います。
脈振幅	脈波の振幅の大きさ、1つの脈波の最大値と最小値の差。
上腕動脈	腋窩動脈に続く動脈で、大胸筋の下縁から肘窩、つまり上腕二頭筋腱膜の下で橈骨動脈と尺骨動脈の2つに分かれるまでの血管。
上腕	肩から肘にかけての部分。
管法則	血管内の血液容量が増大する際、血管の壁が伸ばされることで、壁を構成する平滑筋、エラスチン繊維やコラーゲン繊維が伸ばされ、血管壁にかかる力が増大する、この時の血管容量と壁にかかる力の関係を表す。
拡張率	血管はさまざまな血管作用因子により平滑筋の緊張・弛緩が起こり、収縮・拡張がおこる。この時の因子作用前後での血管容量の比を表す。
閉口	外部の圧力により血管が押しつぶされること。
開口	外部の圧力に対抗し血管が開くこと。
シーケンス	操作の手順。

各部の名称とはたらき

正面



背面



正面

No.	名称	説明
①	腕帯ユニット	被検者が上腕を挿入する腕帯です。挿入後、計測開始スイッチで上腕に一定の力で巻きつき、その後腕帯に給気される空気により加圧されます。計測のシーケンスに沿って腕帯内の空気は給排気され、加圧の状態が変わります。この間の腕帯内圧力と空気容量が記録されます。
②	本体ユニット	腕帯へ空気を供給するポンプ・タンクおよび流路や流量を調整するバルブより構成される配管系、ならびに腕帯内の圧力をコントロールするとともに、圧力・空気容量を計測し、計測データを使い管法則や拡張率を解析計算する計測・解析基板を内蔵しています。また、計算結果をディスプレイに表示および外部からの被検者情報を受け取り保存する機能を持つUI (User Interface) 基板も内蔵されています。背面にあるメインスイッチで電源をオンします。
③	ディスプレイユニット	計測中、計測結果の画像および数値の表示をします。また画面に表示されるボタンをタッチすることにより、本製品の操作を行います。
④	緊急停止ボタン	計測中、不具合が起きた場合は、本ボタンを押し、計測を中止します。

背面

No.	名称	説明
⑤	リセットスイッチ	本製品が起動しない場合や、操作できない場合は、本ボタンを押して再起動を行います。
⑥	AC接続端子	AC電源コードを差し込みます。
⑦	メインスイッチ	本製品の起動時のスイッチです。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 10px;">○</div> <div style="margin-right: 10px;"> </div> </div> オフ オン スwitchを入れたのち約30秒でシステムが立ち上がり、システムのシャットダウンは入力画面の⏻ボタンで行います。システムのシャットダウン後に、メインスイッチをオフにしてください。

AC電源の接続方法

- ①AC電源コードの接続端子をしっかり差し込みます。
- ②もう一方を家庭用電源（AC100V）のコンセントにしっかり差し込みます。
- ③メインスイッチをオンにします。

計測の前に

1. 厚手の上着などは脱いで計測を行ってください。
2. 計測前にはしばらく休んでリラックスした状態で計測を行ってください。
3. 計測時は腕帯の中心を心臓の高さと同じにし、腕の力を抜いてください。
4. 計測中、体を動かしたり、話をしたりしないでください。
5. 次のような事項については、計測値が実際とは異なっている場合があります。
 - 脈圧波が著しく小さく、装置が脈圧判定できないとき。
 - 計測中、体を動かしたり、過度の深呼吸、咳、話をしたりしたとき。

注意

上腕は裸腕または薄手のシャツ程度の服装で測定してください。
厚手の上着などを着ていると正しく計測できません。

始業点検

ご使用前に下記の始業点検を行ってください。

項目	説明
接地の確認	電源コードは、接地極付き医用コンセントに直接に接続されているか。
	接地アダプタや、接地極無しのテーブルタップを使用しないこと。

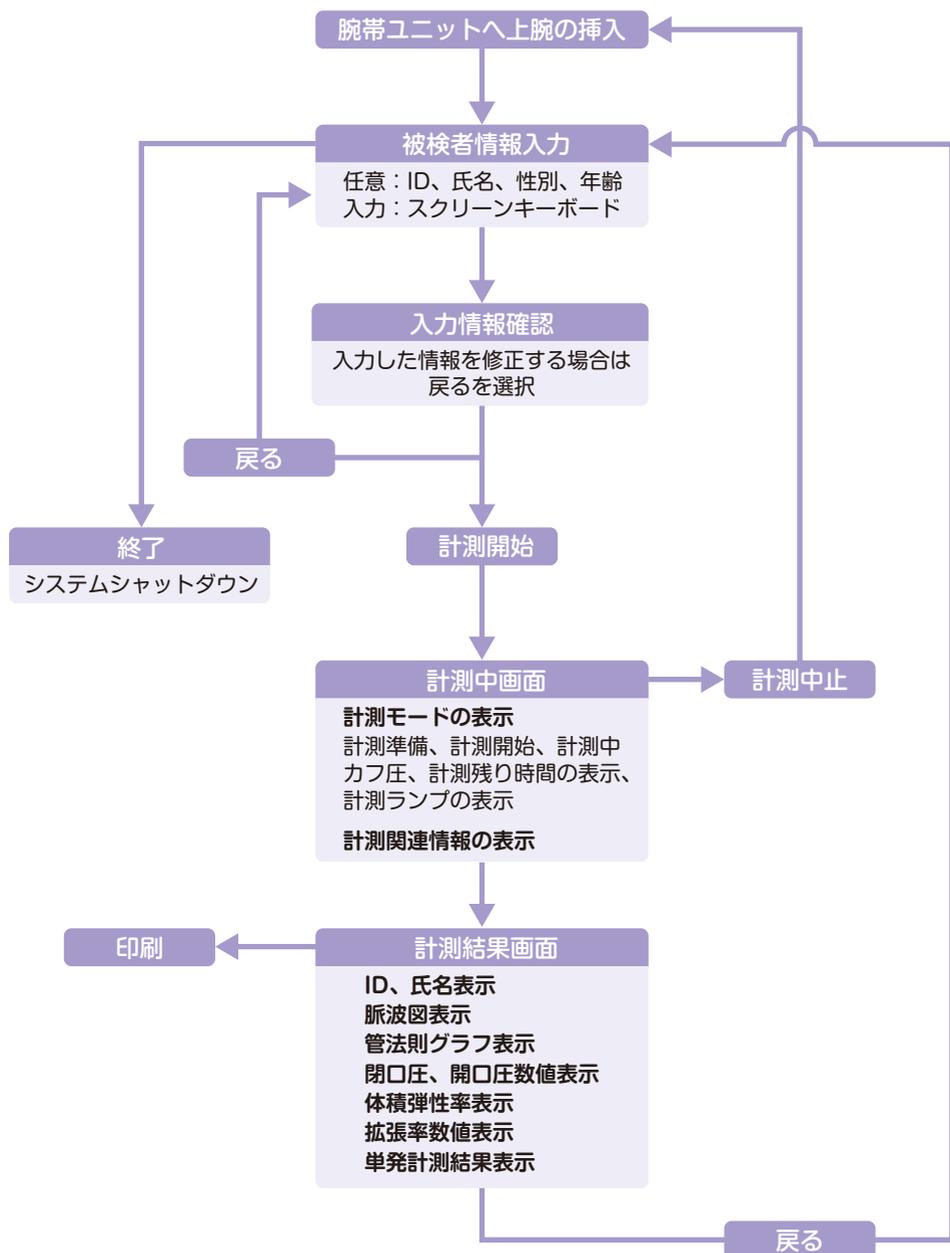
警告

 感電の危険があります。

濡れていたり、結露があつたりする場合、電源を入れないこと。

計測全体の流れ

脈波計測の流れを下図に示します。



計測の操作手順

計測を行う場合の操作手順を画面の表示に沿って説明します。

腕の挿入

被検者は腕帯ユニット上部の計測姿勢を参考に上腕部を腕帯ユニット内に挿入します。



被検者情報入力

ID(氏名)、性別、年齢を任意で登録します。

スクリーンキーボードが表示されます。

キーボードをタッチし、表示される入力欄に必要な情報を入力します。

入力後は[確認]ボタンを押して入力作業を終了します。



- IDまたは氏名の入力
- 性別の選択
- 年齢の入力

入力後確認ボタンを押す。
未入力で確認ボタンから計測画面への移行は可能。
この時 ID は unknown となる。

入力確認

[計測開始] ボタン
計測を開始します。

[戻る] ボタン
入力画面に戻ります。
入力内容の修正などを行います。



計測中

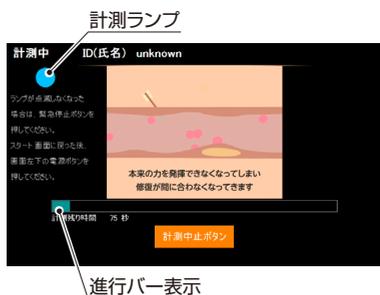
計測中に、ID(氏名)、カフ圧、計測残り時間、計測ランプが表示されます。

計測関連情報 (動画など) を表示します。

また、「計測中です」「動かないでください」という表示を繰り返し表示します。

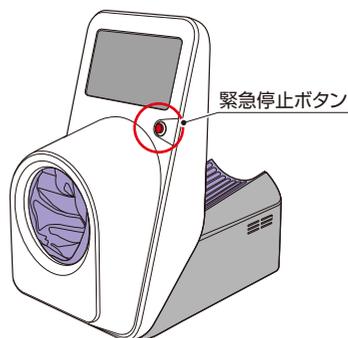
計測中に計測ランプが繰り返し点滅します。

計測中に計測時間の進行バーが動きます。



注意

- 計測途中で中断したい場合には、[計測中止ボタン]を押します。強制的に中止することができます。ただし、計測はされていないので、結果は表示されません。
- [計測中止ボタン]を押しても計測が終了しないなどの不具合が起きた場合は、「緊急停止ボタン」を押します。本体正面の「緊急停止ボタン」を押しても不具合が解決しない場合は、裏面にあるメインスイッチの電源をオフにします。



結果表示

計測および解析結果をグラフおよび数字で表示します。

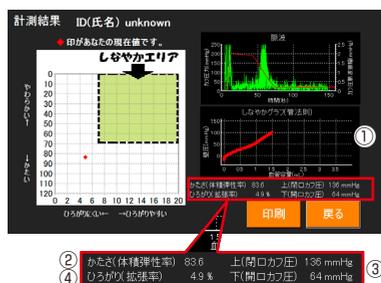
横軸: 時間

縦軸: カフ圧力

の関係がカフ圧降圧時の閉口圧、開口圧近傍間の脈動の状態が示されます。

カフ空気容量一定におけるカフ圧の変化範囲が圧脈波振幅、カフ圧一点におけるカフ空気容量の変化範囲が容積脈波振幅として計測され、管法則に変換されます。

①管法則	脈波解析から得られる血管容量と圧力の関係をグラフ表示します。
②体積弾性率	管法則から任意容量において管法則の傾き(圧力変動/容量変動)に容量を乗算した値として求められます。最小値を表示します。
③閉口カフ圧、開口カフ圧	血管が圧平する圧力と完全に開口する圧力を数値で表示します。
④拡張率	カフ圧の昇降圧後に血管が元の容量から増える容量を比率で表示します。



被検者のID(氏名)が記録され、過去に計測履歴がある場合には、計測結果の変化が表示されます。

結果印刷

計測結果の印刷は[印刷]ボタンを押して、プリントしてください。

[印刷]ボタンを押すと、ボタンが7秒間グレーになり、印刷が行われます。

詳しくは「プリンター操作手順書」をご覧ください。

- 本製品の印刷機能を利用するには、オプション品であるViewWave専用プリンターのご購入が必要です。
- オプション品のお求めは、お買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。

システムの終了

計測終了後は[戻る]ボタンを押して初期入力画面に戻ります。

本画面左下の[⏻]ボタンを押して、システムを終了(画面が消えてから10秒ほどお待ちください。)した後、メインスイッチをオフにしてください。

警告



感電の危険があります。

- お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 動作確認時には、よく乾燥させてから電源を入れてください。

はじめに

- 本製品を安全にご使用いただくために、この章に記載のお手入れを行うようにしてください。
- 本製品を未永くお使いいただくため、定期的にお手入れをしてください。
- お手入れのときは、必ず電源が切れていることを確認してください。
- 汚れは乾いた布で拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をふくませた布で拭き取ってください。そのあと、水で濡らしてよく絞った布で洗剤を拭き取り、乾いた布で拭いてください。
- やわらかい布を使用してください。

毎日のお手入れ

本製品をお使いになった後は、その日のうちに次のお手入れを行ってください。

腕帯のお手入れ

腕帯部は保護カバーで上腕には直接触れないようになっています。

汚れた保護カバーは定期的に洗って清潔にしてください。

ディスプレイのお手入れ

ディスプレイの清掃を行ってください。タッチパネル機能使用後にはディスプレイに汚れが付着しますので、その日のうちに清掃してください。

お手入れは、乾いた布で拭いて汚れを落としてください。

決して濡らさないようにしてください。

注意

- 清掃にはシンナー、ベンジン等の溶剤を使用しないでください。これらの溶剤は製品を傷めます。
- 本製品を薬液に浸さないでください。また、液体が内部に入らないようにしてください。

定期点検

月に一回程度または施設で定められた間隔で次のお手入れと点検を行ってください。

外観点検・製品全体の清掃

外観点検を兼ねて全体の清掃を行ってください。清掃は希釈した中性洗剤または消毒用アルコールを含ませ、固くしぼってから拭いて汚れを落とします。その後、水で濡らし固く絞った布で洗剤等を拭きとります。決して濡らさないようにしてください。

動作点検

長期間使用していなかった場合は、腕帯に円筒物などを挿入して計測操作を行い、ポンプ、腕帯巻き付け機構、腕帯の昇圧、降圧動作を確認してください。

お買い求めの販売店、または当社「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」にご相談いただく前に、次の点検を行ってください。

症状	原因	対処方法	ページ
計測中に止まるなど異常がある場合	回路基板通信エラーが発生	本体正面の「緊急停止ボタン」を押して、画面左下の電源ボタンを押す。画面が消えてから10秒ほど待ち、本体背面のメインスイッチをオフにする。メインスイッチがオフの状態にて約1分間待機し、再びメインスイッチをオンにして、正常に起動するか否かを確認する。	7
画面に何も表示されない場合	システム起動エラーが発生	1. 背面のメインスイッチがオンの状態で背面にあるリセットボタンを押す。正常に再起動することを確認後、使用する。 2. 1で解決されなかった場合、メインスイッチがオフの状態にて約1分間待機し、再びメインスイッチをオンにし、正常に起動するか否かを確認する。	7
	AC電源が入っていない	コンセントに電源プラグが接続されているか、確認する。	8
脈波が計測できない場合	計測中に体が動いた	正しい姿勢で計測しなおしてください。	11
圧力が上がらない場合	腕帯ジョイントが正しくプラグ接続端子に接続されていない 腕帯から空気が漏れ出している	お問い合わせ窓口にご連絡する。	裏表紙
正常に起動しない場合	回路基板通信エラーが発生	画面下部の「シャットダウン」ボタンを押して終了する。画面が消えてから10秒ほど待ち、本体背面のメインスイッチをオフにする。メインスイッチがオフの状態にて約1分間待機し、再びメインスイッチをオンにして、正常に起動するか否かを確認する。	取扱注意点

上記の点検を行っても直らないときは、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。

項目	内容
医療機器届出番号	27B1X00120000080
類別	機械器具 18 血圧検査又は脈波検査用器具
一般的名称	脈波計
医療機器分類	一般医療機器 特定保守管理医療機器
販売名	脈波測定装置 ViewWave
型式	SH-FMD-100
外形寸法	W205×D393×H410mm
製品重量	約5.7kg
電源電圧	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	100VA
電撃に対する保護の形式	クラス I 機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	 B形装着部
使用環境温度	10～40℃
使用環境湿度	85%以下（結露なきこと）
保管温度	－5～50℃
保管湿度	30～85%（結露なきこと）
加圧設定範囲	～300mmHg
圧力表示範囲	～300mmHg
安全対策	カフ圧が300mmHgを越えると強制排気 カフ圧が20mmHg以上で180秒を越えると強制排気
耐用期間	6年
付属品	医療機器対応AC電源コード（長さ2,000mm）
製造販売業者	サラヤ株式会社

保証について

●本製品に保証書が付いています。

保証書の内容をご確認いただき必要事項をご記入のうえ、大切に保管してください。

●保証期間はお買い上げの日から1年間です。

なお、保証期間中でも無料保証できないことがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、または当社「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」までお問い合わせください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

アフターサービスについて

●アフターサービスでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合はお買い求めの販売店、または当社「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」までお問い合わせください。

※故障の場合は、“ご購入日”“本製品の型式”“できるだけ詳しい故障状態”をお知らせください。

●転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い求めの販売店、または当社「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」にご連絡ください。

ご転居先での販売店、または最寄りの当社サービス拠点を紹介させていただきます。

保証書

本製品は、幾多の検査、および品質管理を経お届けしております。お客様での正常使用の中で万一故障した場合には、この保証書記載内容にもとづき対応いたします。下記「お問い合わせ窓口」までご連絡ください。その際には必ずこの保証書をご用意ください。

なお、この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※設置場所変更・ご移転の際には、事前に下記「お問い合わせ窓口」までご相談ください。

型 式	SH-FMD-100		
製造番号	保証期間	(ご購入日)	
		年 月 日から	1年間

個人情報の「利用目的について」はこの枠内をご参照ください。

ご記入いただきました、お名前、ご住所、お電話番号等の個人情報は、保証期間内のサービス活動および、その他の安全点検活動などの為以外には利用いたしません。詳しくは、<https://www.saraya.com/privacy> でご確認ください。
お電話でのお問い合わせは、06-6797-3111個人情報担当(平日9時~18時)までお問い合わせください。

フリガナ			
お 名 前			
ご 住 所	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	都 道 府 県	市 区 郡
	TEL. ()	—	
	FAX. ()	—	
	ご担当部署	ご担当者	
設置場所			

保証規定

- 「取扱説明書・本体貼付ラベル」などの注意に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理*いたします。ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張対応は、出張に要する実費をいただきます。(※社長の判断にもとづく本製品の全部または一部の交換を含みます)
- 次の場合には、保証期間内であっても保証いたしません。
 - (イ) 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障・損傷。
 - (ロ) 納品後の移動・落下・輸送による故障・損傷。
 - (ハ) 火災・塩害・ガス害・異常水圧・異常水質、および地震・雷・風水害・その他の天災地変による故障・損傷。
 - (ニ) 保証書のご提示がない場合。
 - (ホ) 保証書に未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 - この保証書は、明示した期間および条件のもとにおいて無料対応をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。詳しくは「取扱説明書」などをご覧ください。なお、ご不明な場合はお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ窓口 〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
サラヤ株式会社
FMD情報センター TEL.0800-100-3800 URL.<https://ssl.saraya.com/saraya-fmd/info/>

電話受付:平日(土日および祝祭日、弊社休日を除く) 9:00~17:00

●お問い合わせ窓口では、製品のご使用方法やメンテナンスに関するお問い合わせ、最寄りのサービス拠点のご案内を承っております。